「社会福祉施設・旅館業に対する講習会」

が開催されました！

八重山労働基準監督署は、管内で労働災害発生率が高い旅館業と、社会福祉施設を対象にした講習会を開催しました。

八重山地区の労働災害発生状況は、全産業では横ばい状態ですが、特に観光客増加の影響による観光関連産業を中心に業務量が増加しており、その影響による労働災害増加と長時間労働が問題となっています。

そのため、社会福祉施設や旅館業の業務によく発生する腰痛対策として、腰痛予防アドバイザーの山内氏から専門的な予防対策について、過重労働対策として、働き方・休み方改善コンサルタントの倉本氏から長時間労働の現状と対策についてお話していただきました。

参加者からは、「腰痛予防のストレッチ等をさっそく取り入れたい」や「過重労働防止に関する労務管理の説明はもっと時間をかけて説明してほしい」との会社の業務に積極的に取り入れ、対策を講じていきたい旨の意見が寄せられました。

開催日時　平成２６年１１月２８日（木）１４：００～１６：００

開催場所　大濱信泉記念館